

## 令和4年度 事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大から3年目を迎え、行動制限や外出制限も緩和されていき、感染対策を続けながらも少しずつ各種行事やイベントも再開されるようになりました。

しかしながらコロナ禍による経済状況の悪化や生活困窮、さらにはより顕著となった様々な福祉課題や生活課題はすぐに解決することはなく、改善に向けた継続的な支援が求められます。

こうした中で、鹿追町社会福祉協議会では、複雑多様化する課題に対応できるよう鹿追町より2名の職員の派遣を受け、新たに居宅介護支援事業所の開設や生活困窮者就労準備支援等事業を受託し、「鹿追町生活あんしん相談窓口」を設置して、鹿追町やとから生活あんしんセンターなど関係機関と連携しながら相談支援事業に取り組んで参りました。

生活支援体制整備事業では、全ての単位老人会の例会に足を運んで高齢者の現状の把握に努め、隔年で開催する社会福祉大会で「地域社会で生きる未来」と題した講演を行い、介護予防で健康寿命を延ばして人とのつながりを大切に、地域住民で助け合い支え合いを広げる基盤づくりの重要性を伝えました。

コロナ禍で縮小していた団体の活動も、3年ぶりに遺族会の旭川護国神社参拝が開催され、同じく3年ぶりに開催された十勝地区身体障害者スポーツ大会では、少人数ながら参加した鹿追分会が見事に優勝を飾ることが出来ました。

町内飲食店のお弁当で続けてきたふれあい給食も、少しずつサポートボランティアによる手作り給食を再開し、トリムセンターで縮小開催していたクリスマス会は3年ぶりに町民ホールで開催することが出来ました。

介護事業は、新たに特定事業所加算を取得し、コスト削減にも努めているものの依然として経営が厳しい状況ではありますが、鹿追ライオンズクラブ様よりご寄付をいただいた50万円を財源に車イス車輛を購入し、車イス利用者の送迎に役立てています。

鹿追町社会福祉協議会では、引き続きこれらの施策をさらに推進し、誰もが住みなれた地域の中で自立した生活ができる地域社会づくりを目指して、関係機関との連携を密にしながら福祉の向上に努めてまいります。

# 令和4年度主要事業報告

## (1) 会務の運営（予算額 605千円・決算額 524千円）

理事会の開催・評議員会・評議員選任解任委員会の開催・監査の実施。  
役員等研修会への参加。

・理事会	5回開催	令和4年	4月13日（水）	理11名・監事2名
		令和4年	6月8日（水）	理8名・監事2名
		令和4年	10月6日（木）	理10名・監事2名
		令和5年	2月13日（月）	理12名・監事2名
		令和5年	3月17日（金）	理11名・監事2名
・評議員会	3回開催	令和4年	6月27日（月）	評議員14名・会長 副会長2名・監事2名
		令和5年	2月21日（火）	評議員15名・会長 副会長2名・監事2名
		令和5年	3月29日（水）	評議員15名・会長 副会長2名・監事2名
・監査	3回開催	令和4年	5月13日（金）	
		令和4年	9月9日（金）	
		令和5年	1月31日（火）	

## (2) 管理業務（予算額 18,355千円・決算額 17,486千円）

社協一般管理業務、広報・啓発活動（社協だよりの発行・年4回）、各種研修会等の参加。

### ① 初任者研修開催事業

介護に関する基礎的な資格である「介護職員初任者研修」を受講できる機会をつくり、鹿追町における介護人材の確保につなげていくことを目的として開催。受講対象者は、町民・町内の医療福祉関係に勤務する者・医療福祉分野へ進む予定の鹿追高校生。研修は特定非営利法人福祉教育機構へ委託。

・開講期間：9月10日～11月6日（うち集合研修3日）

・研修修了者：13名

### ② 生活困窮者自立支援事業（鹿追町受託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することが出来なくなるおそれのある生活困窮者に対して、生活や就労等の幅広い相談支援を行う事業。関係機関と連携しながら経済的社会的自立を促進し、困窮状態から早期脱却できるよう支援する。

・「鹿追町生活あんしん相談窓口」の設置（ケース支援9名）

・関係機関とのケース会議・打合せ 4回

・福祉重層的支援定例会への出席 12回

・研修会・事業説明会への参加

・フードバンクイコロさっぽろとの連携（2名活用）

・生活困窮者支援プラットフォーム補助金を活用し、備蓄庫の整備

(3) 第19回社会福祉大会の開催 11月16日開催

(予算額 200千円・決算額 95千円)

社会福祉関係者の相互理解と連携を深め、町民の福祉意識の向上を図り、より活力ある社会福祉を推進する機会とする。参加人数 89名

〔式典〕 表彰状贈呈 9名 感謝状贈呈 1団体

〔講演〕 講師：鹿追町社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 箱崎 友理子

演題：「地域社会で生きる未来」

(4) 児童福祉事業 (予算額 70千円・決算額 15千円)

・ひらめきプロジェクト実行委員会主催「夏休みラジオ体操」へ助成

・瓜幕盆踊り大会 (8/16) へ助成

(5) 老人福祉事業 (予算額 383千円・決算額 207千円)

・老人クラブ連合会運営育成及び活動助成

・敬寿会お祝い (9/14)

〔対象者〕 88歳 32名・99歳 4名・100歳 3名・102歳 1名

・ひとり暮らし高齢者「わくわくツアーin音更」開催 (3/16)

・日曜クラブ (託老) への活動助成

(6) 障がい者福祉事業 (予算額 160千円・決算額 160千円)

・身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会の活動補助及び助成

・もみじ工房に対する助成

(7) 給食サービス事業 (予算額 2,407千円・決算額 2,163千円)

・ふれあい給食事業

月2回 (第2・4木曜日) に実施。概ね70歳以上の原則単身・夫婦世帯の方を対象に、給食を食べながら交流を深める。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により町内飲食店のお弁当で開催していたが、少しずつボランティアさんによる手作り給食を再開 (4年度3回) 木俣さん100歳お祝い (風水～5/26)・お寿司の日 (びっくり寿司～10/13)・クリスマス会 (町民ホール～12/22)

・回数 23回 対象人数 35人 延べ人数 743人

・配食サービス事業

毎週火曜日に、バランスの取れた食事を宅配。食事作りは業者 (ごはんや) へ委託。

2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により病院で食事を摂っていた高齢者住宅居住者 (2名) へ毎日2食宅配。

・対象人数 8人 延べ配食数 1576食

(8) 心配ごと相談事業

日常生活上のさまざまな悩みを相談員が親身になって助言相談。相談日は、毎月第1水曜日・午後1時30分～4時まで。相談員は会長・副会長。

・受付延べ件数 0件

(9) ボランティア活動推進事業 (予算額 392千円・決算額 147千円)

・ボランティア団体等の育成・活動助成

・サポートポイント (ボランティアポイント事業)

令和3年度より鹿追町健康ポイントと統合。

サポートボランティア講習会 (計3回・登録者数 37名)

・延べ活動人数 115名 付与ポイント 15250ポイント

※5年度登録講習会 (計3回・登録者45名)

(10) 生活福祉資金貸付事業 (予算額 735千円・決算額 721千円)

他の貸付制度が利用できない低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯等を対象とした貸付金で、厚生資金・生活資金・住宅資金・修学資金・療養資金等がある。

令和2年度から始まった新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、家計の状況が困難になった世帯への特例貸付は9月30日で受付終了。(4年度の貸付申請無し) 5年1月より随時償還開始。

・4年度相談件数 9件 (うち特例貸付7件)

・特例貸付総件数 (2年度～)

・緊急小口 10件 1,900,000円

(うち償還免除 3件 500,000円 4年度末現在)

・総合支援資金 10件 4,569,000円

(延長・再貸付含む)

(11) 日常生活自立支援事業 (予算額 90千円・決算額 3千円)

認知症・知的障害・精神障害などで判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供などによりその選択や契約を支援することを目的とした事業。

・サービス内容 ①福祉サービスの利用援助

② 日常的な金銭管理サービス

③ 書類等の預かり

・現在利用者 1名 (月1回の支援)

(12) 生活支援体制整備事業 (予算額 4,979千円・決算額 4,572千円)

高齢者が、要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等になった場合においても、可能な限り地域において繋がりや生きがい、役割を持って自立した日常生活を営むことを支援するため、地域の多様な主体による多様な生活支援サービスの体制整備を推進する事業。

・鹿追町社会福祉大会

「地域社会で生きる未来～老後につながる暮らし方～」と題して講演

・単位クラブ老人会例会訪問

9単位クラブ 延べ訪問回数 45回

うち5回講話

「これからの人口減少・少子高齢時代の生活

～経験を未来の高齢者へつなぐ～

(上幌内7/1・中鹿追7/8・幌内7/8

・笹川9/22・瓜幕2/6)

- ・生活支援コーディネーター連絡会議等参加
- ・世代間交流の場の創出
  - こどもワークショップの開催
  - なつやすみ 8 / 3・10  
(2日間計4回実施 参加延べ人数 38名)
  - ふゆやすみ 1 / 11 (計2回実施 参加延べ人数 30名)
- ・ひらめきプロジェクト地域参画への協力
  - 夏休みラジオ体操会(全16回 参加人数 未就学児・小学生45名)
  - もちつき大会(参加人数 幼児・小学生 33名)
  - Xmas チャリティーフェス(益金を赤い羽根共同募金へ寄付)

(13) 居宅介護サービス事業

(予算額 25,333千円・決算額 20,323千円)

①訪問介護事業

要支援・要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介助、その他の全般にわたる援助を行う。

・対象人数 25人

②居宅介護事業

障害者総合支援法において市町村支給決定を受けた方を対象に、居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう生活全般にわたる援助を行う事業。入浴や排泄、食事などの身体介護、調理、洗濯、掃除などの家事援助の他、生活上の相談や助言を行います。

・対象人数 0人

③居宅介護支援事業

要介護者及び要支援者が、必要なサービスを適切に利用し、出来る限り自立した生活が送れるよう、居宅介護支援専門員(ケアマネジャー)が本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプランを作成し、サービス事業者との連絡調整等を行うサービス。要支援者に対する介護予防支援事業は町からの受託事業。

・対象人数 87人 延べ 904件

④地域支援事業

1) 配食サービス

(7) 給食サービス事業参照

2) 軽度生活援助

I 外出・買い物等 ～ 外出・買い物等の付き添い援助。

・対象人数 9人 延べ 246回

II 軽微な修繕等 ～ 庭・家の周辺の手入れ、家屋の電気修理等の軽微な修繕。

・対象人数 0人 延べ 0時間

III 除雪サービス ～ 家の前、窓の下等の除雪援助。(予算～法人)

・対象人数 4人 延べ 9回

IV 訪問安否確認 ～ 独居・夫婦世帯の高齢者の生活状況等を確認。

・対象人数 0人 延べ 0回

3) 生きがい活動支援通所事業

施設に通所し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来る様に、生活上必要な機能訓練や他者との交流を行い、社会的孤独感の解消・心身機能の維持向上を図る。

・対象人数 32人 延べ 1094回

4) 生活管理指導員派遣事業

ホームヘルパーを派遣し、日常生活に必要な支援を行う。

・対象人数 0人 延べ 0時間

④ 福祉有償運送事業（移動支援事業）

公共交通機関を単独で利用することが困難な高齢者や身体障害者等に対し、医療機関等への移動手段を提供する。

・福祉有償運送 対象人数 6人 延べ 125回

・移動支援 対象人数 4人 延べ 298回

(14) 法外援助資金貸付事業（予算額 201千円・決算額 115千円）

低所得者を対象に、生活の安定を図るため一時的に資金を必要とする世帯に、5万円を限度に貸付を行う。

・新規貸付件数 5件

(15) 災害見舞金の支給（予算額 100千円・決算額 100千円）

火災等の被災者に対し、見舞金を贈る。 ・対象世帯 2世帯

(16) 高齢勤労者対策事業

高齢者の豊富な知識、経験を生かし、地域社会に貢献する事を目的とした事業。寿勤労会の運営支援。

(17) 赤い羽根共同募金運動協力

（予算額 1,000千円・決算額 1,000千円）

10月1日から12月31日まで実施される赤い羽根共同募金運動への協力。

4年度募金実績額 1,603,779円

(18) 歳末たすけあい運動協力（予算額 1,000千円・決算額 525千円）

12月1日から31日まで実施される歳末たすけあい運動への協力。皆様より寄せられた義援金は、要援護世帯・母子世帯等へ配分。

4年度募金実績額 755,356円

(19) テント・日常生活用具貸出

・福祉事業や団体事業、学校行事などに、テントを無償で貸出（貸付件数 6件）

・車イス、特殊ベッド、歩行器等を無償で貸出（貸付件数 12件）